

(トップページ:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/> )

(三大石油会社の業績比較:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/ExxonShellBp.html> )

(石油:<http://members3.jcom.home.ne.jp/3632asdm/oil.html> )

マイライブラリー:0217

(注)本稿は2012年月17日、19日の2回にわたり「内外の石油情報を読み解く」に掲載したレポートをまとめたものです。

2012.2.19  
前田 高行

## 三大国際石油企業 2011 年度業績速報シリーズ

### III. BP の業績

(注)詳細は下記同社 HP 参照。

<http://www.bp.com/extendedgenericarticle.do?categoryId=2012968&contentId=7073072>

#### 1. 2011年の売上・利益・投資及び生産量

##### (1)売上高

BP の 2011 年 1-12 月の売上高は 375,517 百万ドルであり、前年度の売上 297,107 百万ドルに対し 26%の増収であった。この売上高は過去 5 年間で最も大きい。後述するように同社の石油・ガスの生産量は前年(2010 年)を 10%近く下回っており、また過去 5 年間で最も低かった。にもかかわらず売上高が最高を達成した理由は石油価格が上昇したためである。

##### (2)利益・損失

BP の 2011 年 1-12 月の損益は前年の大幅な損失(-3,719 百万ドル)から一転して過去 5 年間で最高の 257 億ドルを記録した。前年度の損失はメキシコ湾の原油漏出事故によるものであるが、BP はわずか 1 年で事故の痛手を乗り越え驚異的に回復したのである。部門別で見ると上流部門 305 億ドル、下流部門 55 億ドルであり、ExxonMobil、Shell と同様大半の利益を上流部門で稼いでいる(その他の部門は損失 103 億ドル)。また二部門の利益は前年と殆ど変わらない。このことから BP の収益構造は安定していると言えよう。

##### (4)設備・探鉱投資

2011 年度の投資総額は 31,518 百万ドルであり、前年に比べ 37%の大幅な増加を示している。投資を上流部門、下流部門およびその他部門に分けると、上流部門には全体の 81%を占める 25,535 百万ドルが配分されている。下流部門は 4,130 百万ドル(全体の 13%)であり、その他部門は 1,853 百万ドル(同 6%)であった。

#### (5)石油・天然ガスの生産量

2011年の生産量は石油が一日当たり平均 216 万バレル(以下 B/D)であり、天然ガスは日産 75 億立法フィート(以下億 cfd)である。天然ガスを石油に換算し石油と合計した場合は 345 万 B/D に達する。

石油生産量を地域別にみると、最も多いのはロシアの 87 万 B/D であり、続いて米国が 45 万 B/D、欧州 15 万 B/D である。BP は石油生産の 4 割をロシアに依存しており ExxonMobil, Shell に見られない特色である。一方天然ガスについては米国が全体の 4 分の 1(18 億 cfd)を占めている。

## 2. 2007～2011 年の業績推移

(図 <http://members3.jcom.home.ne.jp/maeda1/2-D-4-93eBp.pdf> 参照)

2007 年から 2011 年までの過去 5 年間の BP の売上、利益、設備投資及び生産量は以下の通りであった。

### (1) 売上高

2007 年に 2,844 億ドルであった BP の売上は 2008 年には 3,611 億ドルに急増したが、2009 年は一転して前年比 34%減の 2,393 億ドルに急減した。その後 2010 年は 2,971 億ドルに回復、2011 年には過去 5 年間では最高の 3,755 億ドルに達している。

売上高の振幅が大きい理由は石油価格の急騰と急落によるものである。売上と生産量の増減に相関関係が無いことは、過去 5 年間で見ると生産量は 2009 年が最も多く 2011 年が最も少なかったのに比べ、売上高は逆に 2009 年が最も少なく、2011 年が最も多かったことに現れている。

### (2) 利益

BP の利益は 2007 年、2008 年は 210 億ドル前後のほぼ横ばい状況であり、ExxonMobil、Shell、BP3 社の中では最も低かった。2009 年の利益は 166 億ドルに減少したが、この額は Shell(125 億ドル)よりも多く、ExxonMobil(192 億ドル)に比べ遜色がなかった。このため売上高利益率は 6.9%と 3 社中で最も高かったのである。

しかし 2010 年はメキシコ湾事故の影響により一転して 37 億ドルの赤字となった。ただ同社の収益構造は非常に強固であり、翌年には過去 5 年間で最高の 257 億ドルの利益を計上した。

### (3) 設備・探鉱投資額

同社の投資額は 2007 年 206 億ドル、2008 年 307 億ドル、2009 年 203 億ドル、2010 年 230 億ドル、2011 年 315 億ドルであった。同社は毎年利益額を上回る投資を続けており、メキシコ湾事故で巨額の損失を計上した 2010 年も高い投資水準を維持し、2011 年は当年度利益を大幅に上回る投資を行っている。但し次項に述べるごとく生産量は 2010 年までの横ばいから 2011 年はむしろ減少しており、短期的には投資の効果が見られない。

### (4) 生産量(石油及び天然ガスの合計生産量)

2007 年に 382 万 B/D であった生産量は 2008 年に 384 万 B/D、2009 年には 400 万 B/D に達した。しかし翌 2010 年には 382 万 B/D に減少、さらに 2011 年は 345 万 B/D と過去 5 年間では最低

の水準に落ちている。

(BP 編 完)

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601  
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642  
E-mail; maeda1@jcom.home.ne.jp